



2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社タカミヤ

〒530-0011

大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階



アジェンダ

- トピックス
- 2021年3月期 第1四半期 連結業績のご説明



会社概要

商号	株式会社タカミヤ
設立	1969年6月21日
代表者	代表取締役会長兼社長 高宮一雅
資本金	10億5,011万円
従業員数	連結：1,342名 単体：724名※2020年6月末時点、
登記本社	大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階



営業拠点	<p>【支店】東北仙台、茨城、東京、新潟、名古屋、大阪、中四国、九州福岡（計8）</p> <p>【営業所】札幌、盛岡、福島、つくば、鹿島、市原、北陸、福井、長野、静岡、京滋、広島、沖縄（計13）</p> <p>【機材センター】青森東通、岩手盛岡、宮城仙台第二、福島広野、新潟横越、新潟長岡、茨城中央、茨城つくば、茨城出島、茨城鹿島、千葉大木戸、千葉市原、埼玉久喜、神奈川愛川、信州長野、静岡吉田、石川金沢、福井鯖江、東海木曾岬、滋賀近江八幡、大阪枚方、大阪摂津、和歌山桃山、兵庫東条、神戸長田、広島志和、香川さぬき（計27）</p>
------	--

連結子会社	<国内：7社> (株)イワタ、(株)ヒラマツ、(株)青森アトム、(株)トータル都市整備、(株)ネクステック、(株)キャディアン、(株)ナカヤ機材 <海外：3社> ホリー코리아(株)、ホリーベトナム(有)、DIMENSION-ALL INC.（計10社）
-------	--

株式上場	2005年06月 JASDAQ証券取引所 <small>(注) 2008年1月 JASDAQ市場への上場は廃止しました</small>
	2007年12月 東京証券取引所市場第二部
	2014年12月 東京証券取引所市場第一部指定



トピックス

2020年06月25日
第52回 定時株主総会開催

2020年06月25日
取締役に対するストックオプション（新株予約権）の付与に関するお知らせ

2020年06月25日
役員の変動に関するお知らせ

上記の他、各種リリース。IR情報は弊社ホームページからご覧いただけます。
<https://www.takamiya.co/>

役員の変動に関するお知らせ




株式会社 TAKAMIYA
2020年4月22日

各 位

会社名 株式会社 タカミヤ
 代表者名 代表取締役社長兼会長 高 宮 一 樹
 (コード番号2445 東証一部)
 開会会社名 取締役兼取締役候補者代表 安田 秀 樹
 経営管理部長 安田 秀 樹
 (TEL: 06-6775-3918)

役員の変動に関するお知らせ

当社は、2020年4月22日開催の取締役会において、下記のとおり役員の変動を内容いたしましたのでお知らせいたします。なお、監事の変更につきましては、2020年6月25日開催予定の第52回定時株主総会において正式に決定される予定です。

記

1. 取締役の兼職 (2020年5月29日付)

新 任 職 名	氏 名	現 任 職 名
代表取締役社長 取締役兼取締役候補者代表	高 宮 一 樹	代表取締役社長 代表取締役候補者代表
取締役候補者代表	安田 秀 樹	代表取締役候補者代表 経営管理部長

(注) 2020年5月29日開催予定の株式会社ワンチーム株主総会第146回臨時株主総会において正式に決定される予定です。

2. 新任監査役候補者 (2020年6月25日付)

1) 新任監査役候補者の生年月日別一覧

氏 名 (生年月日)	期 限	所有する 当社の株式
清 水 謙 (1980年3月20日)	1989年3月 株式会社 2017年4月 経営管理部長 情報システム部長 (現任)	122,439株

(2) 選任の理由
清水 謙氏は、当社の創業期に1989年4月から2008年3月まで在籍し、2009年4月より現在まで情報システム部長として、当社グループ業務システムの構築、業務改善、IT戦略などのグループ全体の情報管理システムを統括するなど、当社グループ事業発展に貢献していただき、情報システムの高度化の重要な部分を含める今日において、実働経験を十分な投資を有すると判断したためであります。
清水 謙氏のご同意を以て、2020年6月25日開催予定の第52回定時株主総会において正式に決定される予定です。

3. 新株予約権交付 (2020年6月25日付)

氏 名	現 任 職 名
山田 仁雄雄士	山田 一 樹 代表取締役

(注) 山田 仁雄雄士は、選任後当該職に就任する予定です。

1

第52回定時株主総会決議ご通知

議決コード2445
 2020年6月25日

株 主 各 位

大 塚 幸 五 郎 大 塚 幸 三 雄 一 樹
 株式会社 タカミヤ
 代表取締役社長兼 高 宮 一 樹

第52回定時株主総会決議ご通知

拝啓 株主の皆様には御座います。誠に勝手ながらお知らせいたします。
さて、本日開催の定時株主総会決議事項について下記のとおり御報告に決議されたことをご通知いたします。

記

報告事項 1. 第52回 (2019年4月1日)から2020年3月31日(まで) 業績報告、酒造財務報告並びに役員報酬人及び監事報酬の連結財務諸表監査報告書の中
2. 第52回 (2019年4月1日)から2020年3月31日(まで) 財務報告の件
本日は、上記の報告並びに監査報告をいたしました。

決議事項 取締役8名選任の件
本日は、高宮一樹、高宮一樹、安田秀樹、安田 樹、山田仁雄、山田謙治、清水謙、山田謙治が、それぞれ選任されました。
なお、山田謙治、山田 謙の選任は、株主総会決議であります。

第2号決議事項 監事1名選任の件
本日は、清水 謙が選任されました。

第3号決議事項 役員賞与交付の件
本日は、山田一樹と山田謙治が選任されました。

以上



1. 連結業績サマリー

1.1 概況

- ✓ 販売事業において、顧客の次世代足場への関心は引き続き強いものの、先行き不透明な状況の為、購入決定を保留する動きがありました。
- ✓ 仮設機材の稼働率は堅調に推移していますが、前年度センター移転に伴う機材の移動運搬費が増加しました。セグメント利益及び利益率は低下しました。
- ✓ フィリピンでの都市封鎖により、連結子会社(DAI)における事業活動が制限され減収となりました。一方、ベトナム、韓国での日本向け製品の製造は、原料・部品調達に大きな影響なく、順調に推移しました。



1. 連結業績サマリー 累計期間（2020年4月～2020年6月）

1.2 連結業績

連結業績 (単位：百万円)	2021年3月期 1Q		2021年3月期 1Q 実績		2020年3月期 1Q 実績		対前年 増減率
	(非開示)	売上高比		売上高比		売上高比	
売上高	—	—	9,660	100.0%	10,161	100.0%	△4.9%
売上総利益	—	—	2,806	29.0%	2,995	29.5%	△6.3%
販管費	—	—	2,330	24.1%	2,445	24.1%	△4.7%
営業利益	—	—	475	4.9%	549	5.4%	△13.5%
経常利益	—	—	380	3.9%	454	4.5%	△16.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	237	2.5%	362	3.6%	△34.3%
一株当たり純利益 (潜在株式調整後一株純利益)	—	—	5.11円 (4.97円)	—	8.45円 (8.20円)	—	—
一株当たり配当金	—	—	—	—	—	—	—
減価償却費 (CF計算書ベース)	—	—	1,200	12.4%	1,178	11.6%	+1.9%
EBITDA (利払い前・税引き前・減価償却前利益)	—	—	1,675	17.3%	1,727	17.0%	△3.0%



1. 連結業績サマリー 累計期間（2020年4月～2020年6月）

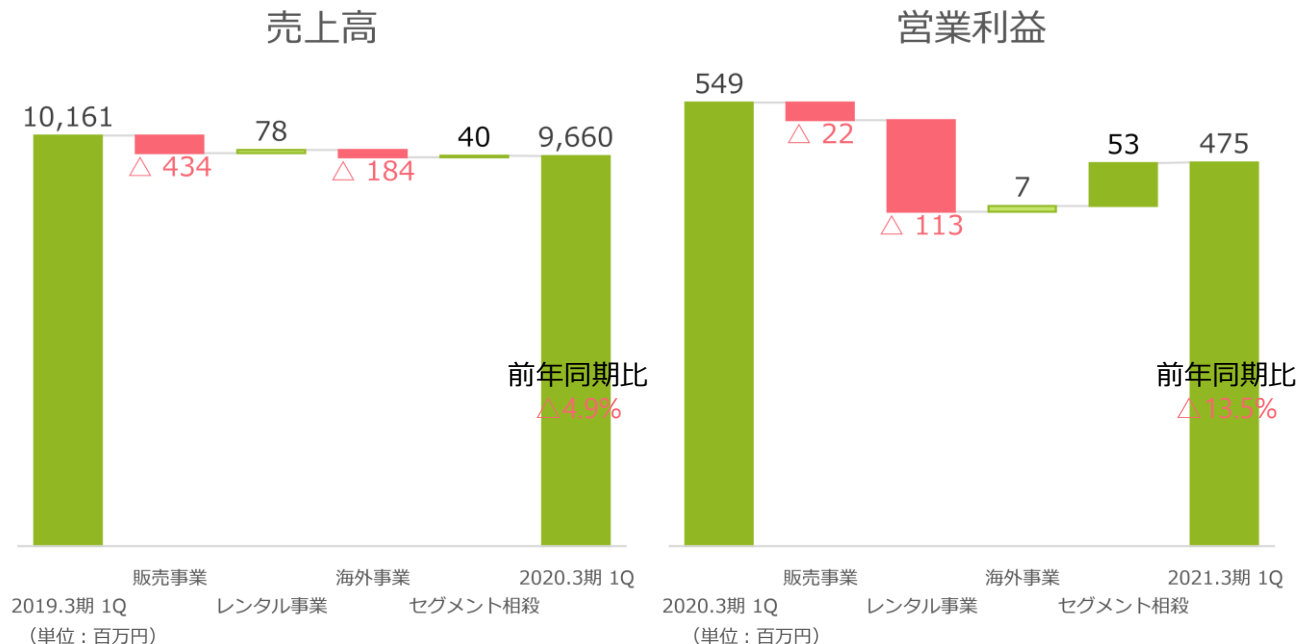
1.3 売上高&営業利益の増減要因

売上高

- ✓ 500百万円減（前年同期比▲4.9%）：販売事業・海外事業で減収。レンタル事業は微増。

営業利益

- ✓ 74百万円減（前年同期比▲13.5%）：販売事業・レンタル事業で減益。

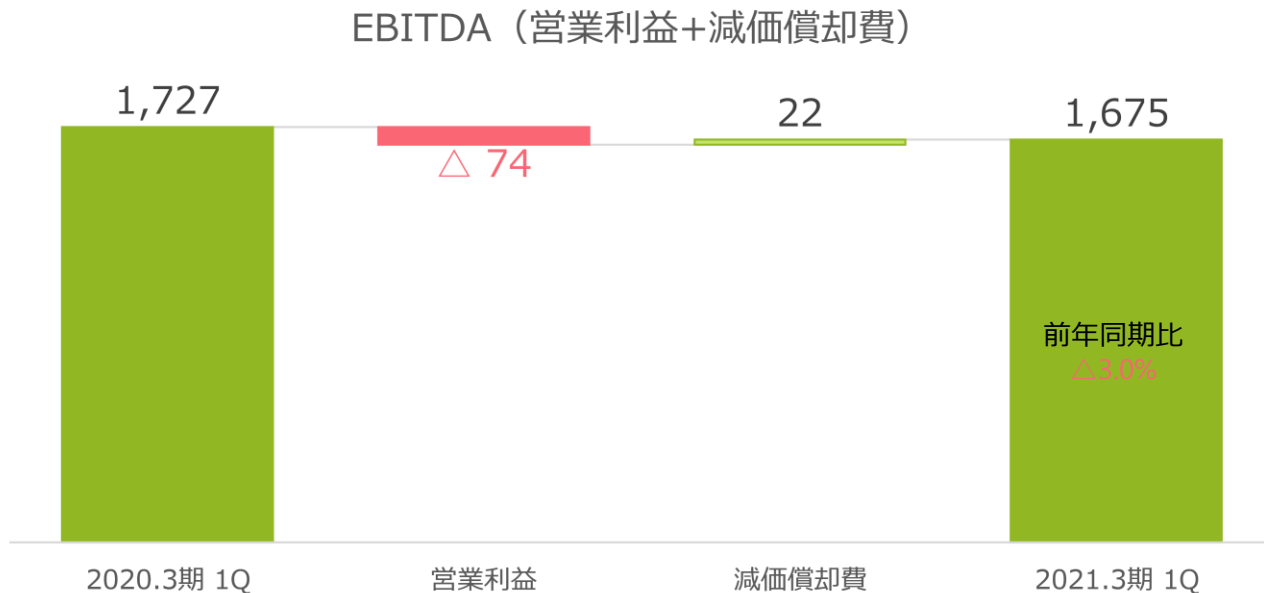




1. 連結業績サマリー 累計期間（2020年4月～2020年6月）

1.4 EBITDA（営業利益+減価償却費）

- ✓ 前年比で51百万円減となった主因は、営業減益によります。
- ✓ 減価償却費は、概ね横這いで推移しました。



（単位：百万円）



1. 連結業績サマリー 累計期間（2020年4月～2020年6月）

1.5 セグメント別業績

- ✓ 販売事業・海外事業はコロナ・経済環境悪化により減収。
- ✓ 販売事業・レンタル事業が減益。

単位：百万円	売上高			セグメント営業利益 (セグメント営業利益率)		
	2020年3月期 1Q	2020年3月期 1Q	前年同期比	2020年3月期 1Q	2020年3月期 1Q	前年同期比
販売	3,136	2,701	△13.9%	309 (9.9%)	287 (10.6%)	△7.3%
レンタル	6,034	6,112	+1.3%	643 (10.7%)	530 (8.7%)	△17.6%
海外	1,560	1,376	△11.8%	11 (0.7%)	18 (1.4%)	+63.2%



2. 販売事業

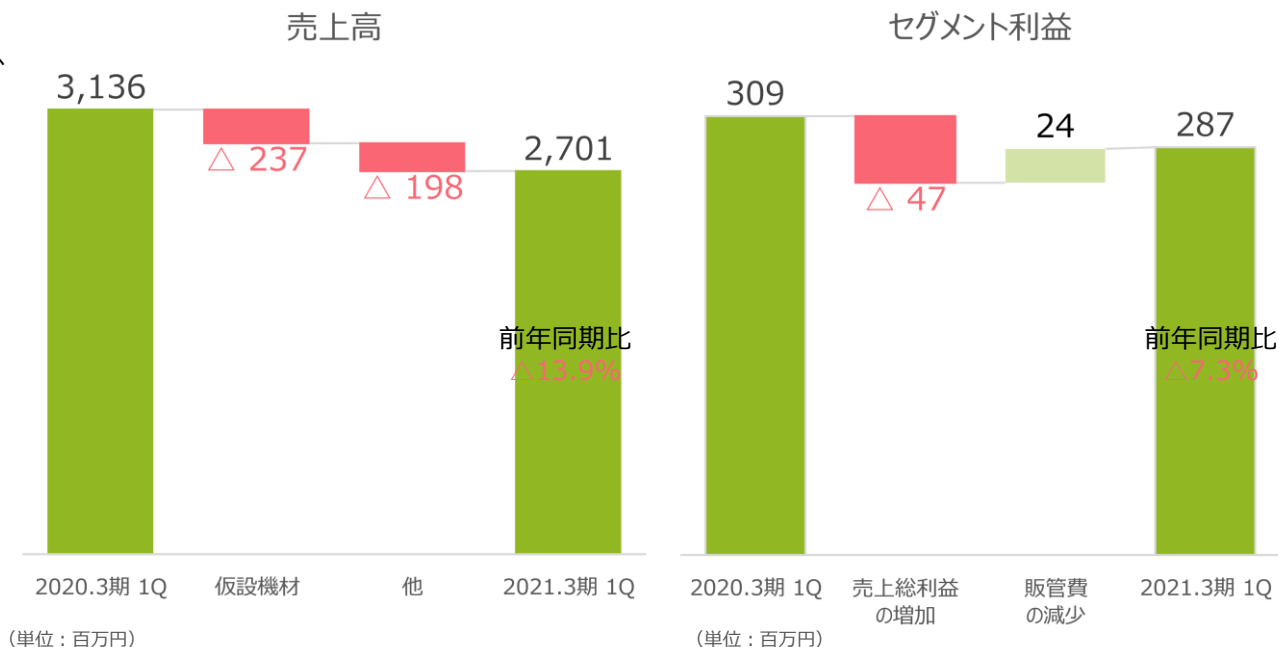
2.1 対前年同期比較増減要因

売上高：△434百万円（減収）

- ✓ 引き合いは堅調に推移していますが、経済状況を鑑み、成約に至らず前年比で減少となりました。

営業利益：△22百万円（減益）

- ✓ 新型コロナでの移動制限などにより販管費は前年比を下回りましたが、売上高減少による利益減少をカバーするに迄は至りませんでした。

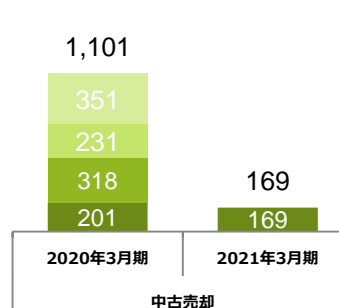
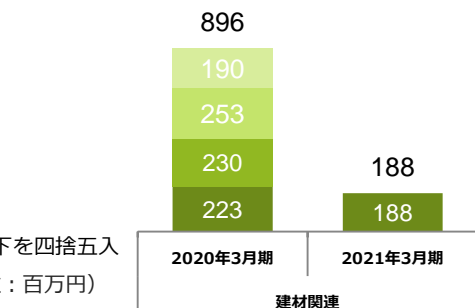
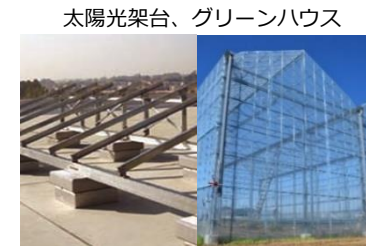
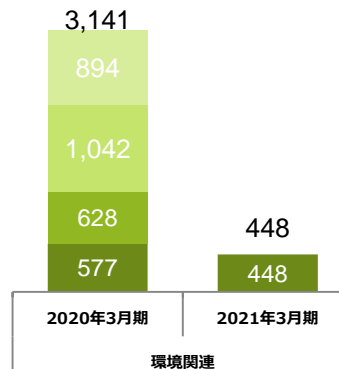
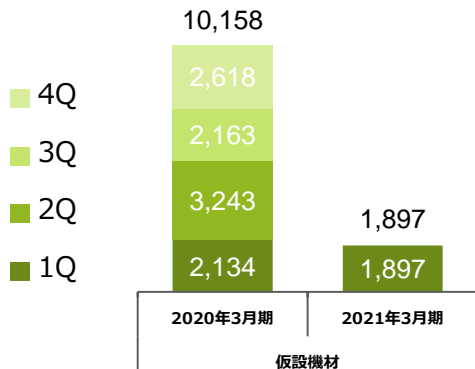




2. 販売事業

2.2 分野別売上高

顧客の次世代足場への関心は引き続き強いものの、先行き不透明な状況の為、購入決定を保留する動き



※百万円以下を四捨五入
(単位：百万円)

修正) 20.3期3Q 230⇒231



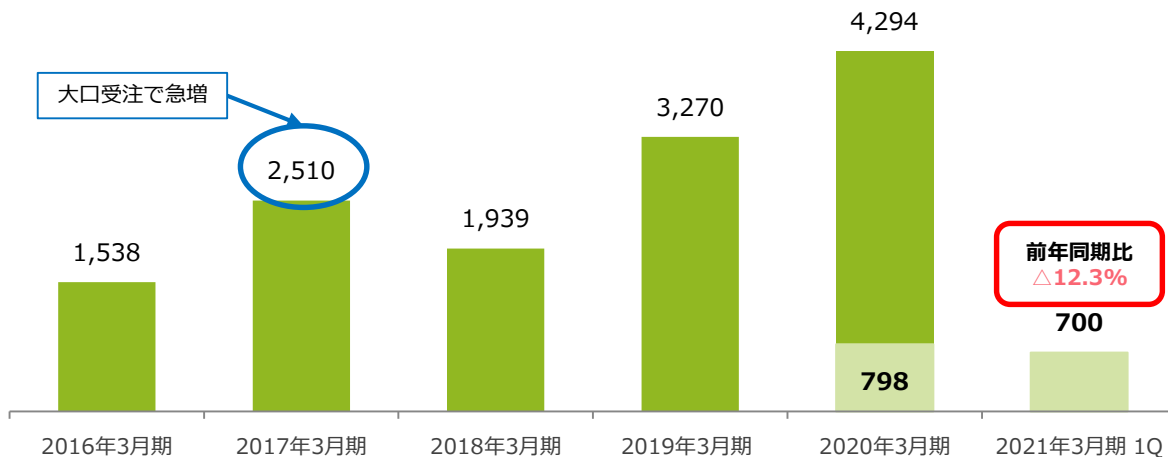
2. 販売事業

2.3 Iqシステム普及状況

Iqシステムの販売が前年同期比12.3%減（△98百万円）、案件は多いものの成約に時間を要しています

Iqシステム各期販売実績

(単位：百万円)



Iqシステム m²数 : 665万m²

賃貸資産保有 : 290万m²

累計販売実績 : 375万m²

※Iqシステム支柱長*÷2×1.8m
で当社が試算。

*当社保有資産+販売実績より算出。

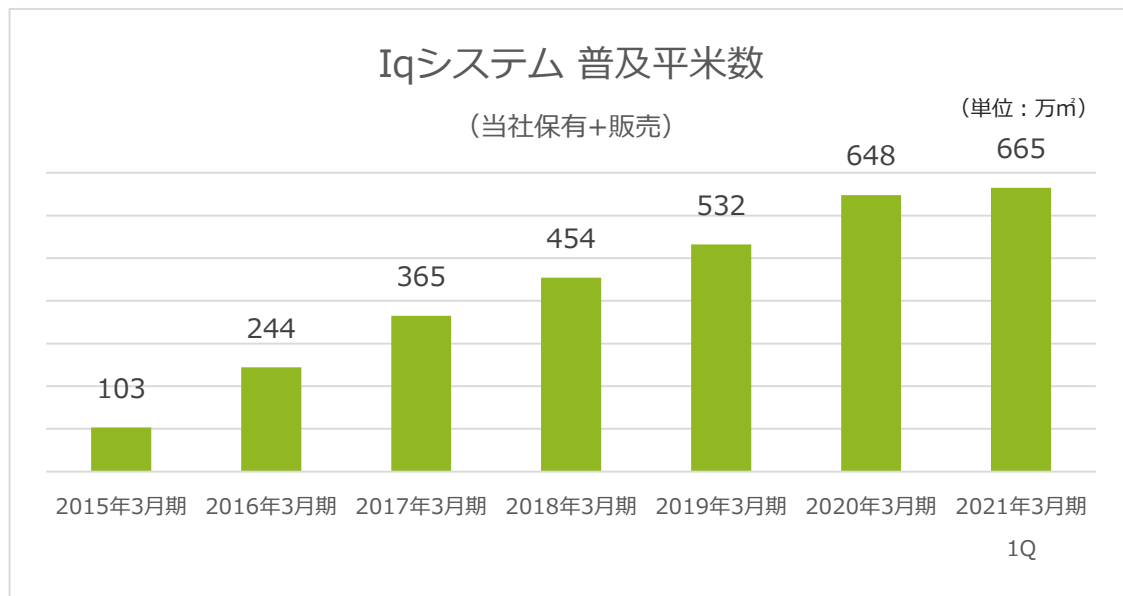
**Iqシステム累計販売額
150億円**



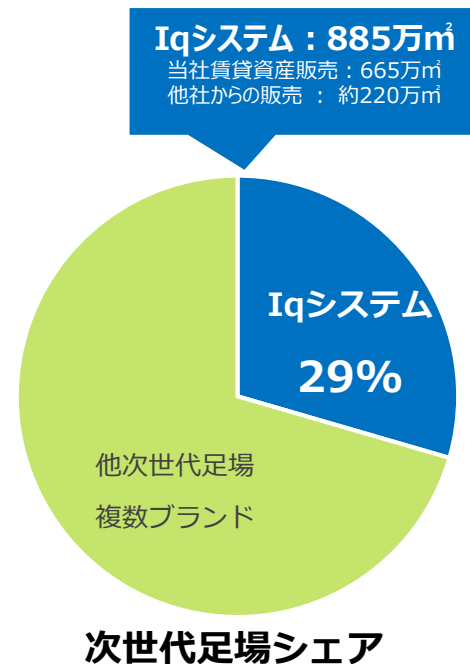
2. 販売事業

2.4 Iqシステム 普及平米数

競合各社も次世代足場へシフトし、業界での次世代足場普及が加速



※販売額と賃貸資産保有額から独自試算



※円グラフは当社調べ



3. レンタル事業

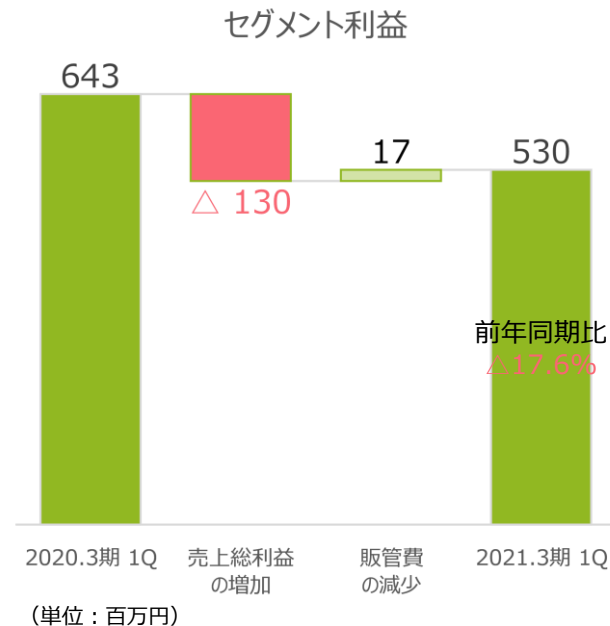
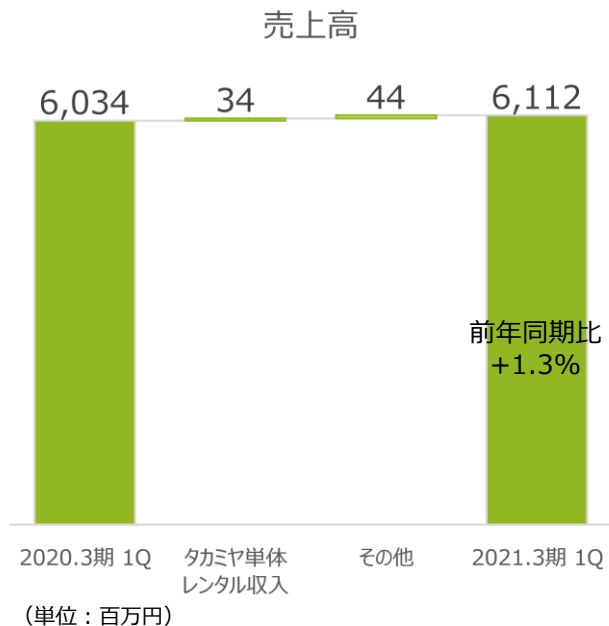
3.1 対前年同期比較増減要因

売上高：+78百万円（増収）

- ✓ 首都圏での工事休止・延期がありました
ましたが、その他地域が堅調に推移し
微増しました。

営業利益：△113百万円（減益）

- ✓ センター移転、新規開設に伴う諸費
用の増加により粗利が低下しまし
た。一方、販管費は、新型コロナで
移動制限等を実施し関連経費が減少
しました。



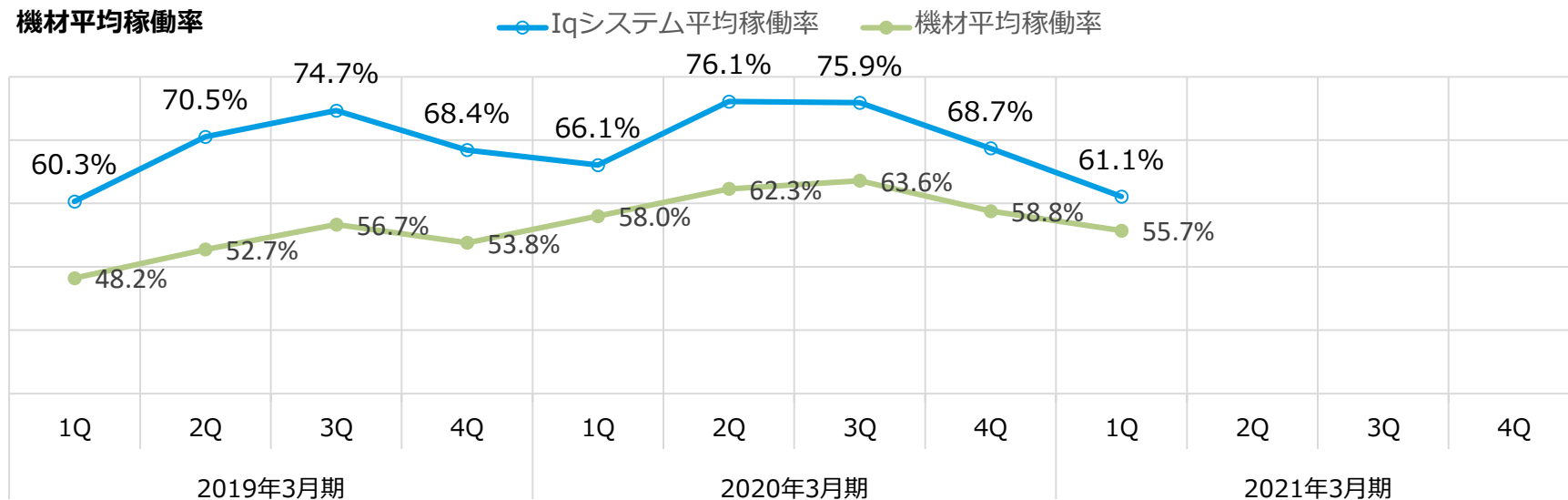


3. レンタル事業

3.2 機材平均稼働率推移 ※稼働率のトレンドは例年3Qが頂点の山型 ※稼働率 = 貸出量 / 保有資産

首都圏を中心に新型コロナの影響による工事一時休止及び延期など機材稼働率は例年と違った動きをしています

機材平均稼働率



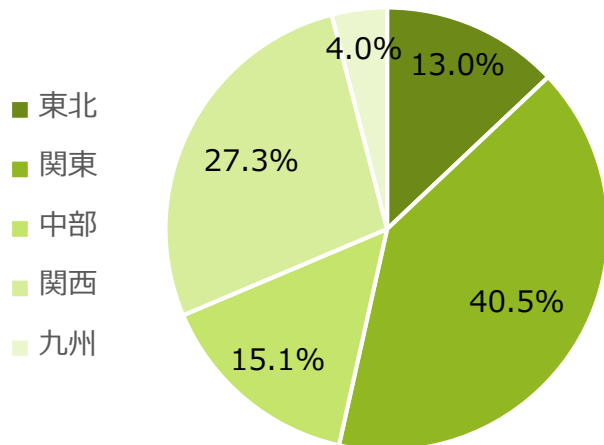


3. レンタル事業

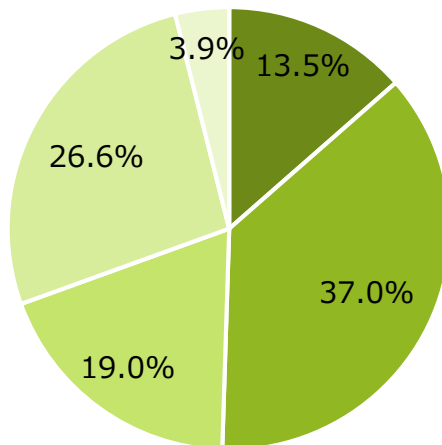
3.3 ブロック別売上高比率

関東・東北は、新型コロナの影響による工事一時休止・延期の影響を受け低調、他地域は堅調に推移

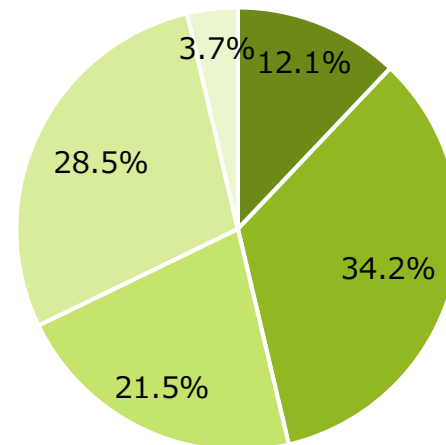
2019年3月期



2020年3月期



2020年3月期 1Q



※中四国ブロックは関西ブロックに含まれています。



4. 海外事業

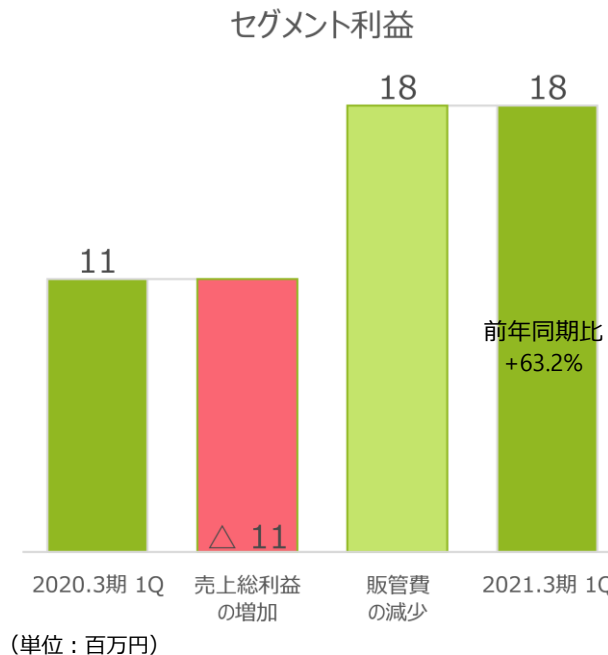
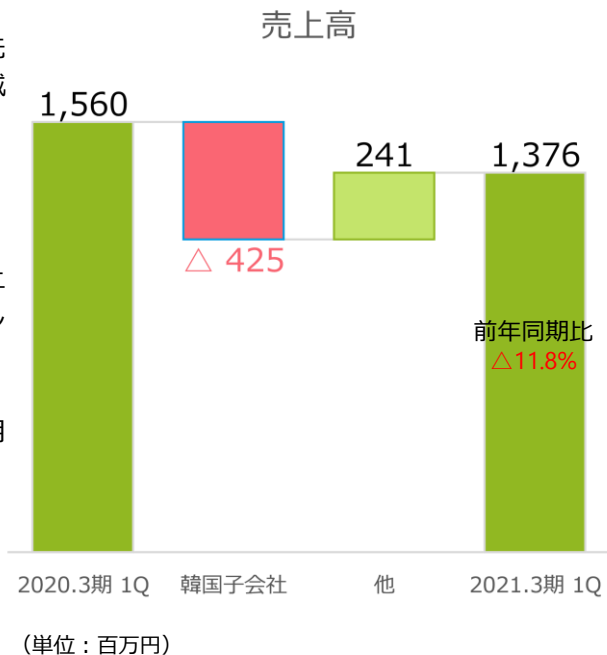
4.1 対前年同期比較増減要因

売上高：▲184百万円（減収）

- ✓ 韓国は、経済環境の悪化、与信不安先への供給見送りなどにより売上高が減少しました。

営業利益：+7百万円（増益）

- ✓ 売上総利益率は改善しましたが、売上高の減少に伴って利益額が低下しました
- ✓ 販管費は、売上高減少により営業費用が減少しました

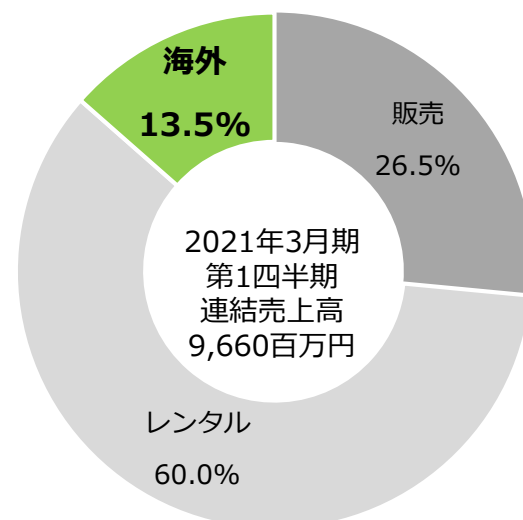
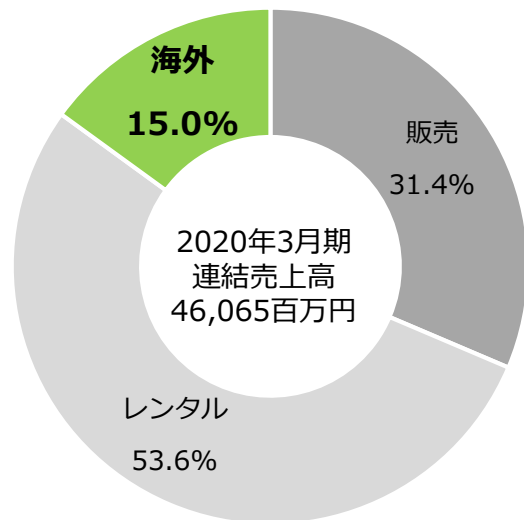
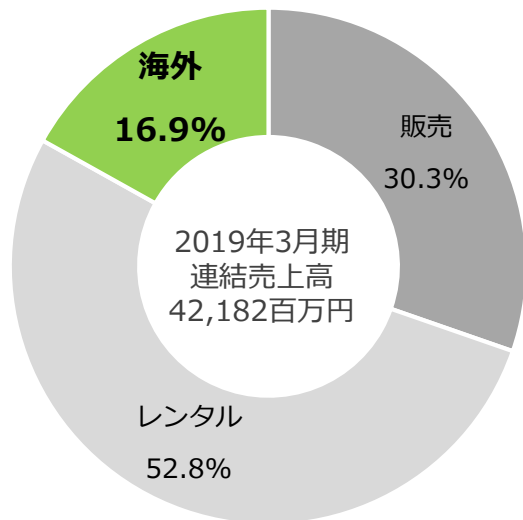




4. 海外事業

4.2 セグメント別売上高比率

海外事業は収益体制の改善に取り組んでおり、連結売上高に占めるシェアが低下しています



※「セグメント別売上高比率」はセグメント間消去前の売上高で算出しています。



5. 連結貸借対照表

売上高減少に伴い売掛金が減少、今後に備え手元資金を確保（現預金増、負債増）

【資産の部】

流動資産

現金及び預金	: 10,346百万円 (+3,103百万円)
受取手形及び売掛金	: 12,901百万円 (△1,199百万円)

固定資産

貸貸資産（純額）	: 14,473百万円 (△434百万円)
機械装置及び運搬具（純額）	: 1,304百万円 (+44百万円)

【負債の部】

流動負債

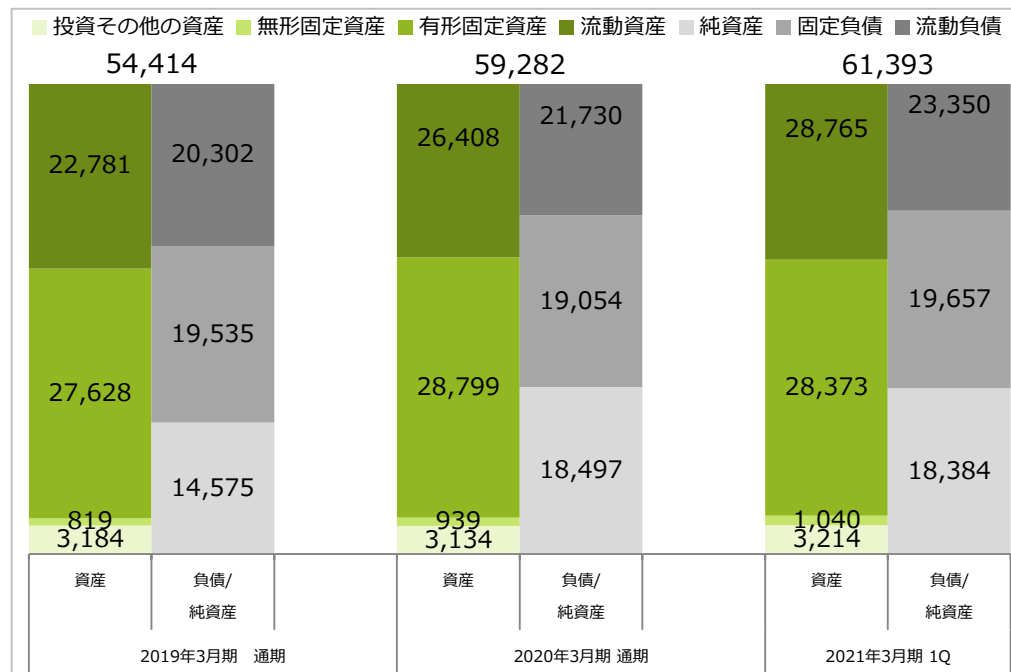
短期借入金	: 7,571百万円 (+2,171百万円)
-------	------------------------

固定負債

長期借入金	: 12,482百万円 (+658百万円)
-------	-----------------------

純資産

株主資本合計 (資本金、利益剰余金、他)	: 18,384百万円 (△112百万円)
-------------------------	-----------------------



※ () 内は対前期末からの増減

(単位：百万円)



6. 株主還元

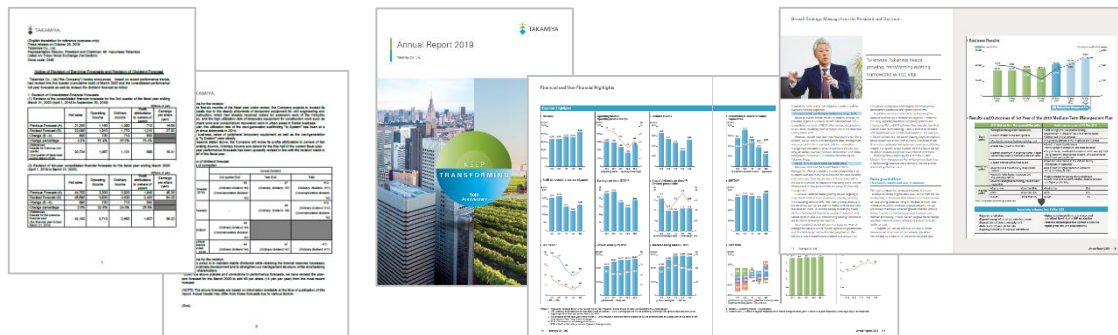
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (予想)
配当金	10円	11円	11円	14円	14円
内訳) 1Q	-	-	-	-	-
2Q	3.5円	4.0円	4.0円	6.0円	6.0円
3Q	-	-	-	-	-
4Q	6.5円	7.0円	7.0円	8.0円	8.0円
配当金額総額	428百万円	471百万円	471百万円	651百万円	-
配当性向	28.5%	37.6%	28.8%	26.5%	-
自社株買い	529百万円	0百万円	0百万円	0百万円	-
総還元性向	63.2%	37.6%	28.8%	26.5%	-
自己資本配当率 (配当性向×ROE)	3.6%	3.7%	3.5%	3.9%	-
ROE	12.6%	9.8%	12.0%	14.7%	-



7. ESG情報

7.1 IR活動

- 決算説明会動画配信（説明会開催後4～7日で公開）
- 決算短信、決算説明資料、適時開示リリース（一部）の英文開示
- アニュアルレポートの発行（和文・英文）、Web公開 ※2020年版は10月頃発行予定
- 非財務情報の開示（アニュアルレポートに掲載・Web掲載）
- 投資家との対話をもとに積極的な情報開示を実施（次世代足場普及平米数、機材稼働率など）
- 個人投資家説明会開催
- 1on1ミーティング





7. ESG情報

7.2 人材育成

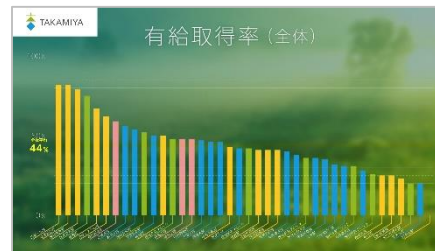
人材を中心とした「人本主義」経営および施策の推進

- 中堅・若手従業員を中心とした社内プロジェクトの推進
- 各部設定のK P I 達成度に応じたインセンティブ報酬
- 従業員への情報開示で能動的な働き方改革を推進（右図）
- 新入社員、中途社員、管理職前などステージに応じた研修実施
- メンター制度（新入社員・中途社員）
- 有休取得奨励のための結婚記念日休暇、リフレッシュ休暇など
- テレワーク（在宅勤務）※緊急事態宣言発令以前からの取り組み

持続的な企業価値・株主価値向上のため

Key(鍵)となる人材の育成は重要課題（人本主義）

人本主義：「人材が企業力の本質である」との当社の経営哲学

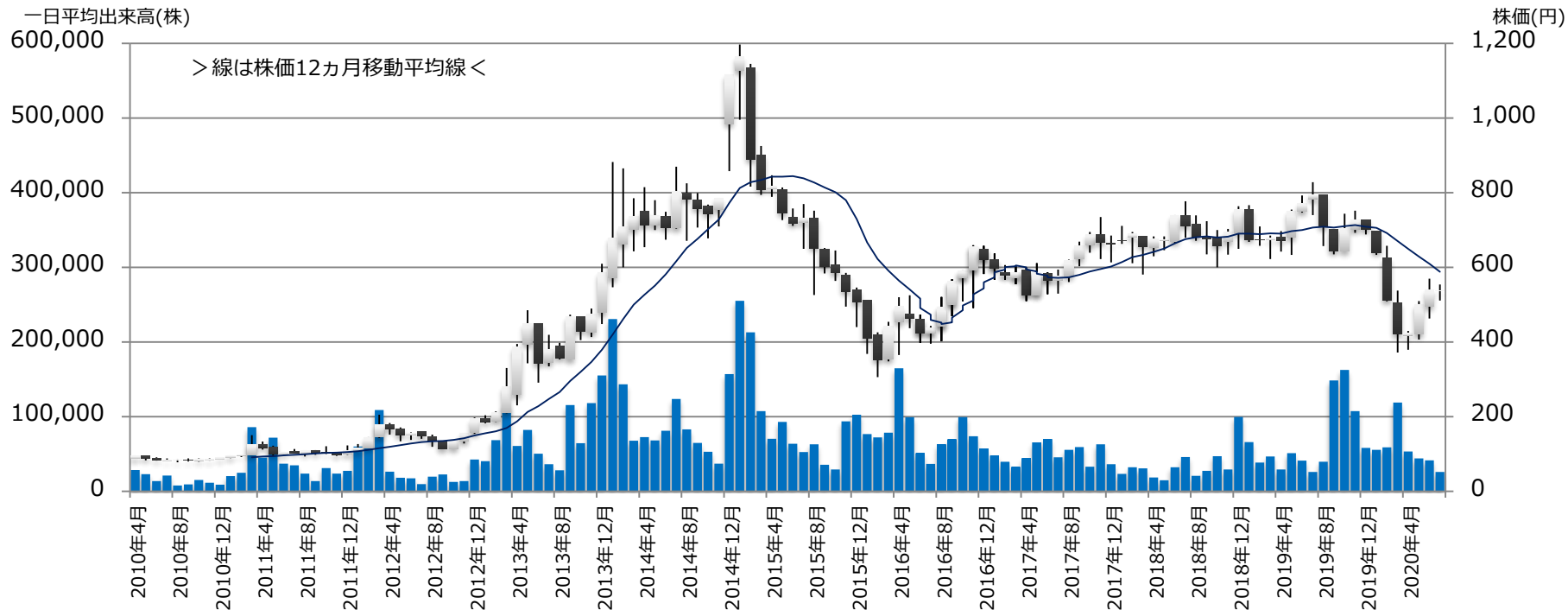


ご来訪者各位にも
大型サイネージで公開





2445.T タカミヤ 株価推移





株主数・株主構成の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
期末株主数	3,395名	3,058名	2,923名	4,092名
株主構成				
政府及び地方公共団体	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
金融機関	15.32 %	19.02 %	19.89 %	22.77 %
金融商品取引業者	0.95 %	0.56 %	0.30 %	0.66 %
その他の法人	20.26 %	20.58 %	20.50 %	20.78 %
外国法人等	4.16 %	3.84 %	4.55 %	6.85 %
個人・その他	53.56 %	50.27 %	49.03 %	48.92 %
自己名義株式	5.75 %	5.74 %	5.73 %	0.02 %
内、投資信託設定株数	5.47 %	9.11 %	10.00 %	11.98 %
内、年金信託設定株数	0.55 %	0.56 %	0.45 %	0.93 %



参考資料

株式会社タカミヤ
〒530-0011
大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階



沿革

- ・ 1969年 6月 仮設資材の売買を目的として、大阪市東淀川区に(株)新関西を設立。
- ・ 1998年 3月 大阪市北区に仮設図面設計の(有)テクノ工房（現・連結子会社、商号を(株)キャディアンに変更）を設立。
- ・ 2004年 10月 静岡県榛原郡榛原町に(株)ヒラマツ（現・連結子会社、現・静岡県牧之原市）を設立。
- ・ 2005年 6月 (株)ジャスタック証券取引所上場。
- ・ 2007年 12月 (株)東京証券取引所市場第二部上場。
- ・ 2008年 10月 青森県下北郡東通村に仮設機材レンタルの(株)青森アトム（現・連結子会社）を設立。
- ・ 2009年 8月 名古屋市中川区の(株)石島機材製作所(現・(株)トータル都市整備)の全株式を取得し、連結子会社とする。
- ・ 2010年 9月 ホリー(株)の発行済株式の100%を取得。同社及び同社の100%子会社であるホリーコリア(株)を連結子会社とする。
- ・ 2013年 7月 ベトナム社会主義共和国にホリーベトナム(有)（現・連結子会社）を設立。
- ・ 2014年 12月 (株)東京証券取引所市場第一部に指定。
- ・ 2015年 7月 アルミ製のシステム型枠の販売・レンタルのDIMENSION-ALL INC.（フィリピン共和国パシッグ市）を連結子会社とする。
- ・ 2018年 1月 ホリー(株)（連結子会社）を吸収合併。
- ・ 2018年 2月 島根県松江市の(株)ナカヤ機材の全株式を取得し、連結子会社とする。
- ・ 2019年 4月 「株式会社タカミヤ」に商号を変更し、それに伴いロゴマークも刷新。



販売事業

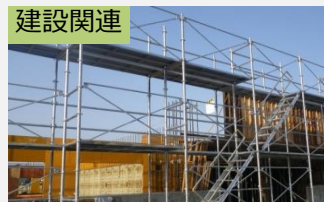
1.1 取扱機材

継手（クランプ）



あらゆる建設工事で使用する汎用部材

次世代足場（Iqシステム）



従来の枠組足場に換わる高性能の足場材

吊り足場（スパイダーパネル）



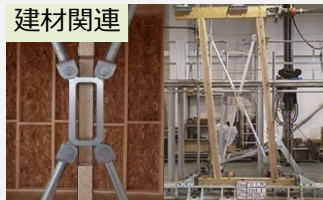
主に橋梁工事で使用される、チェーンで吊り下げる足場材

安全部材



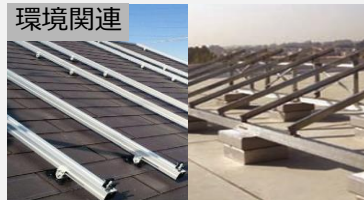
先行手すり、巾木、手すり部材など

木造住宅用制振装置



ホリー社オリジナル。新築、既築ともに対応

太陽光発電パネル架台



住宅用、産業用のパネル架台の販売

農業用グリーンハウス



農業用のパイプハウス、鉄骨製ハウス（グリーンハウス）

仮設機材



新品、中古機材の仕入販売、賃貸資産の処分



レンタル事業

対応工事分野

建築（新築・維持補修）



ビル、マンション、学校、病院、
倉庫や商業施設等

橋梁（新築・維持補修）



高速道路、鉄道、高架橋、橋等

トンネル・地下工事



地下鉄、パイプライン、共同溝
などシールド工事

プラント



処理場・焼却炉、プラントの
建設・メンテナンス等

高層建物維持補修工事



超高層建物の維持補修・メンテナ
ンス、解体等

解体工事



立替え、補修にともなう、建造物
の解体等

斜面防災工事



地滑り、土砂災害を未然に防ぐ
防災工事等

港湾（防潮堤等）



高波、高潮、津波被害を防ぐ防潮
堤の建設工



レンタル事業

レンタル事業に含まれる不随事業

流通



顧客のもとへ製品を運搬

全国に展開する事業所を通して、仮設機材をはじめとする多彩な製品のスムーズな提供を実現しています。「販売」「レンタル」の2種類の方法でお客様のニーズに応じており、安全かつ施工性の高い現場環境をサポートしています。

施工



足場の組立・解体などの施工サービスを全国で展開

足場の組立・解体工事を請け負っています。全国に広がる工事協力会ネットワークで、どこでも施工可能な体制が整っています。適切に整備された豊富な保有機材を活用し、安全で高品質な足場施工サービスを提供いたします。

CAD製図



足場の図面作成や強度計算、躯体図面のトレース

安全な足場を組み上げるには、事前の設計が重要です。当社では、自社で足場のCAD図面作成及び強度計算を行っています。足場設計のほか、紙媒体の躯体図面をCADに書き起こすトレース事業や、設備関連のCAD図面作成、3D CADを用いた図面作成も行っています。



海外事業

進出国と事業内容

ホリーコア株式会社



建設用仮設機材や太陽光パネル設置架台の製造・販売・レンタルを行っており、太陽光パネル設置架台の需要が根強く続いています。

ホリーベトナム有限会社



日本国内向けクランプや東南アジア向けクランプ、仮設機材の製造を行っています。汎用性の高い製品の開発製造体制を目指します。

DIMENSION-ALL INC.

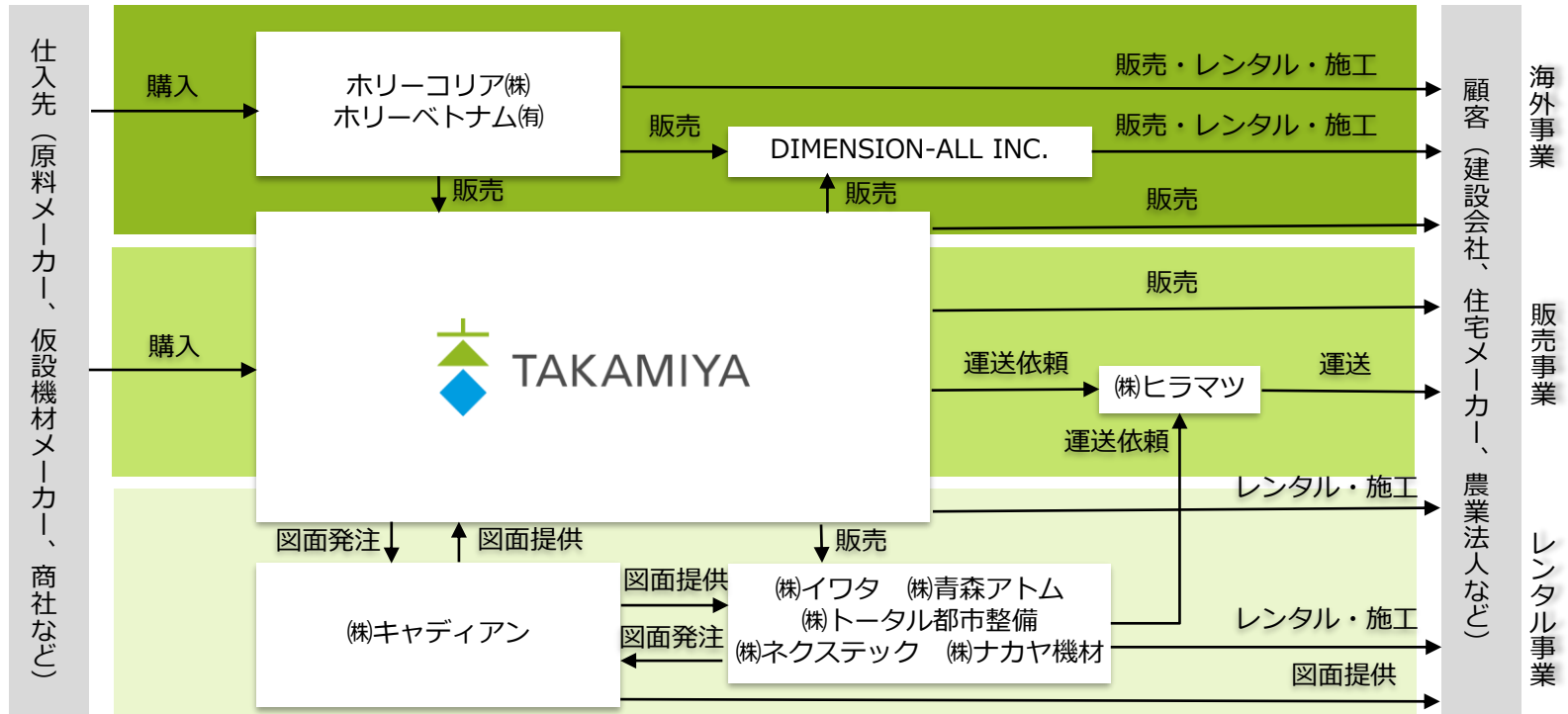


※ フィリピン カランバヤード

建設用型枠・支保工の販売・レンタルを行っています。フィリピン国内にて旺盛な建設需要があり、非常に高い稼働率を誇っています。



事業系統図





セグメント別実績 四半期推移 累計期間

(単位：百万円)		2020年3月期				2021年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売事業	セグメント売上高	3,136	7,556	11,246	15,299	2,701	-	-	-
	内、外部売上	3,117	7,431	11,053	15,064	2,662	-	-	-
	セグメント利益	309	1,104	1,414	1,934	287	-	-	-
	セグメント利益率	9.9%	14.6%	12.6%	12.6%	10.6%	-	-	-
	(対前年増減率)セグメント売上高	+9.0%	+13.8%	+11.6%	+13.2%	△13.9%	-	-	-
	セグメント利益	△9.3%	+21.1%	+6.9%	+15.9%	△7.3%	-	-	-
レンタル事業	セグメント売上高	6,034	12,692	19,485	26,118	6,112	-	-	-
	内、外部売上	6,021	12,668	19,451	26,073	6,102	-	-	-
	セグメント利益	643	1,628	2,301	3,025	530	-	-	-
	セグメント利益率	10.7%	12.8%	11.8%	11.6%	8.7%	-	-	-
	(対前年増減率)セグメント売上高	+14.3%	+13.5%	+11.4%	+11.1%	+1.3%	-	-	-
	セグメント利益	+142.1%	+82.6%	+36.1%	+22.8%	△17.6%	-	-	-
海外事業	セグメント売上高	1,560	3,187	5,532	7,306	1,376	-	-	-
	内、外部売上	1,022	1,997	3,786	4,927	894	-	-	-
	セグメント利益	11	48	300	410	18	-	-	-
	セグメント利益率	0.7%	1.5%	5.4%	5.6%	1.4%	-	-	-
	(対前年増減率)セグメント売上高	△21.6%	△20.7%	△9.2%	△3.0%	△11.8%	-	-	-
	セグメント利益	-	+1,565.1%	+564.0%	+1,583%	+63.2%	-	-	-
	売上高合計	10,732	23,436	36,265	48,724	10,191	-	-	-
	内、外部売上	10,161	22,097	34,291	46,065	9,660	-	-	-



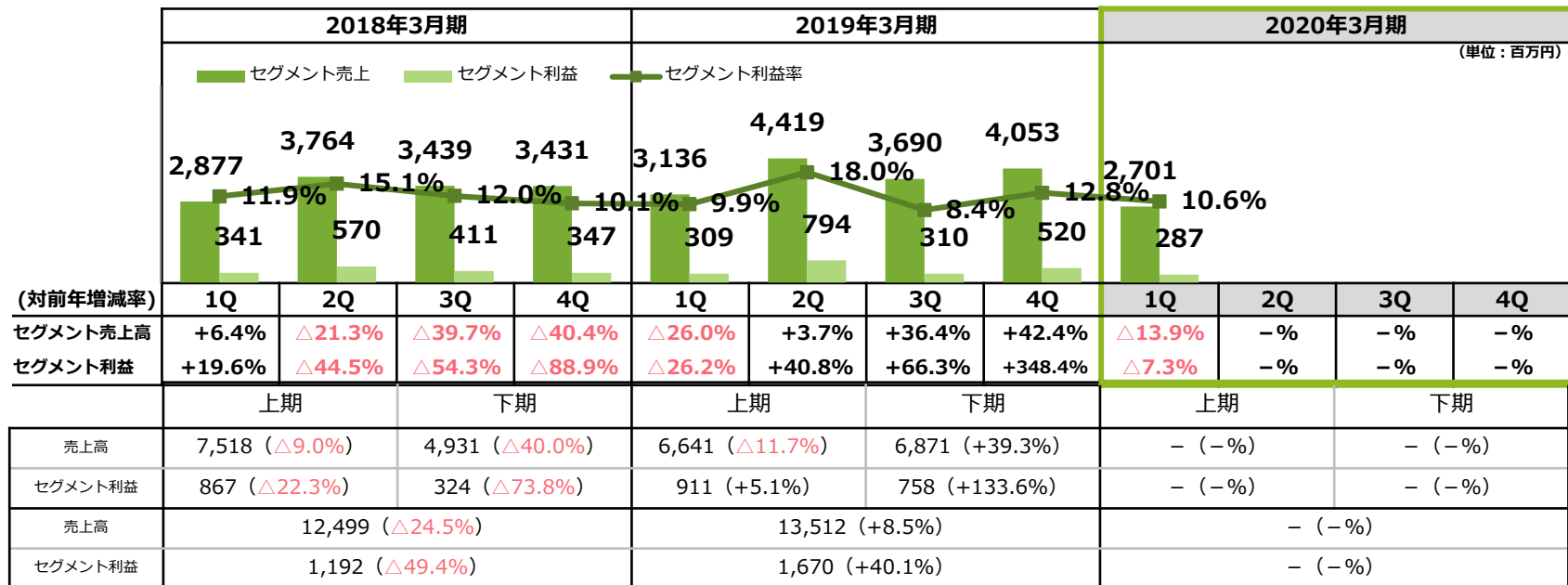
セグメント別実績 四半期推移 会計期間

(単位：百万円)		2020年3月期				2021年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売事業	セグメント売上高	3,136	4,419	3,690	4,053	2,701	-	-	-
	内、外部売上	3,117	4,314	3,622	4,010	2,662	-	-	-
	セグメント利益	309	794	310	520	287	-	-	-
	セグメント利益率	9.9%	18.0%	8.4%	12.8%	10.6%	-	-	-
	(対前年増減率)セグメント売上高	+9.0%	+17.4%	+7.3%	+18.1%	△13.9%	-	-	-
	セグメント利益	△9.3%	+39.4%	△24.5%	+49.8%	△7.3%	-	-	-
レンタル事業	セグメント売上高	6,034	6,657	6,793	6,632	6,112	-	-	-
	内、外部売上	6,021	6,646	6,783	6,621	6,102	-	-	-
	セグメント利益	643	984	673	724	530	-	-	-
	セグメント利益率	10.7%	14.8%	9.9%	10.9%	8.7%	-	-	-
	(対前年増減率)セグメント売上高	+14.3%	+12.7%	+7.7%	+10.1%	+1.3%	-	-	-
	セグメント利益	+142.1%	+57.4%	△15.8%	△6.3%	△17.6%	-	-	-
海外事業	セグメント売上高	1,560	1,626	2,345	1,773	1,376	-	-	-
	内、外部売上	1,022	975	1,789	1,140	894	-	-	-
	セグメント利益	11	37	251	110	18	-	-	-
	セグメント利益率	0.7%	2.3%	10.7%	6.2%	1.4%	-	-	-
	(対前年増減率)セグメント売上高	△21.6%	△19.8%	+13.2%	+22.9%	△11.8%	-	-	-
	セグメント利益	-	+11.5%	+494.7%	-	+63.2%	-	-	-
	売上高合計	10,732	12,703	12,829	12,459	10,191	-	-	-
	内、外部売上	10,161	11,936	12,194	11,773	9,660	-	-	-



セグメント別実績 四半期推移 会計期間

販売事業

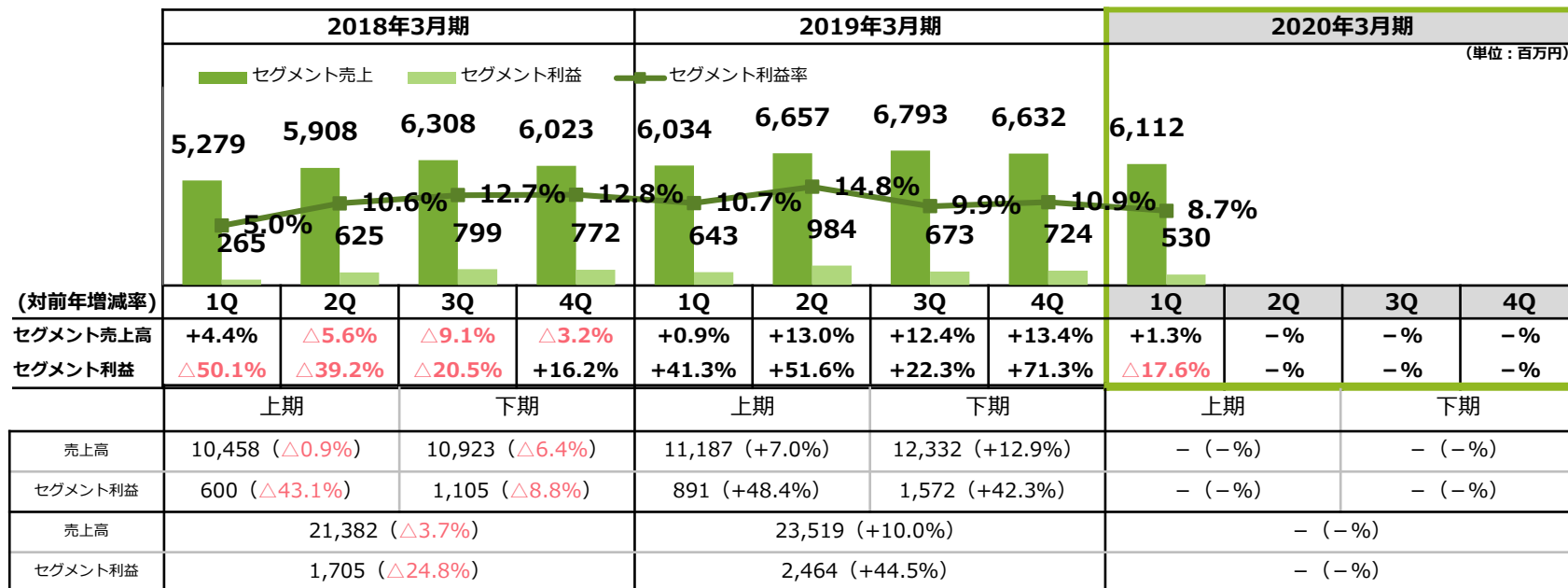


※セグメント売上高、セグメント利益は内部取引を含む値です



セグメント別実績 四半期推移 会計期間

レンタル事業



※セグメント売上高、セグメント利益は内部取引を含む値です



セグメント別実績 四半期推移 会計期間

海外事業

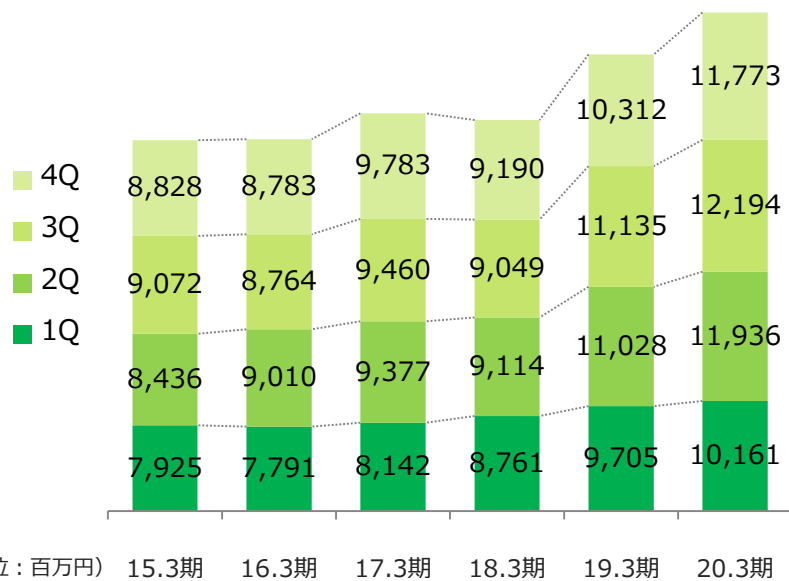
	2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
(対前年増減率)												
セグメント売上高	+11.6%	+49.2%	+40.9%	+51.5%	+77.2%	+46.1%	+47.3%	△24.6%	△11.8%	-%	-%	-%
セグメント利益	+80.4%	+202.4%	+117.9%	+225.4%	△850.0%	△57.4%	+648.1%	△129.4%	+63.2%	-%	-%	-%
	上期		下期		上期		下期		上期		下期	
売上高	2,512 (+29.7%)		3,319 (+46.8%)		4,020 (+60.0%)		3,514 (+5.9%)		- (-%)		- (-%)	
セグメント利益	73 (+172.3%)		76 (+186.4%)		3 (△96.0%)		21 (△72.0%)		- (-%)		- (-%)	
売上高	5,832 (+38.9%)				7,535 (+29.2%)				- (-%)			
セグメント利益	149 (+178.8%)				24 (△83.7%)				- (-%)			

※セグメント売上高、セグメント利益は内部取引を含む値です

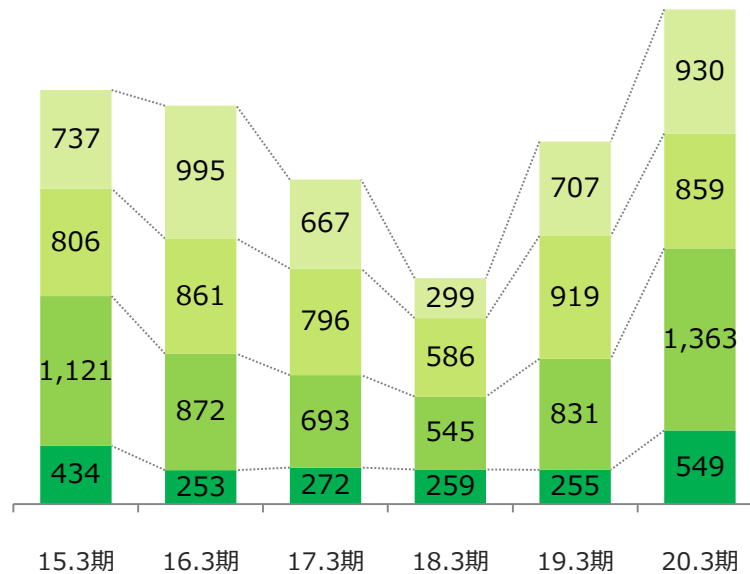


業績の推移

売上高の推移



営業利益の推移



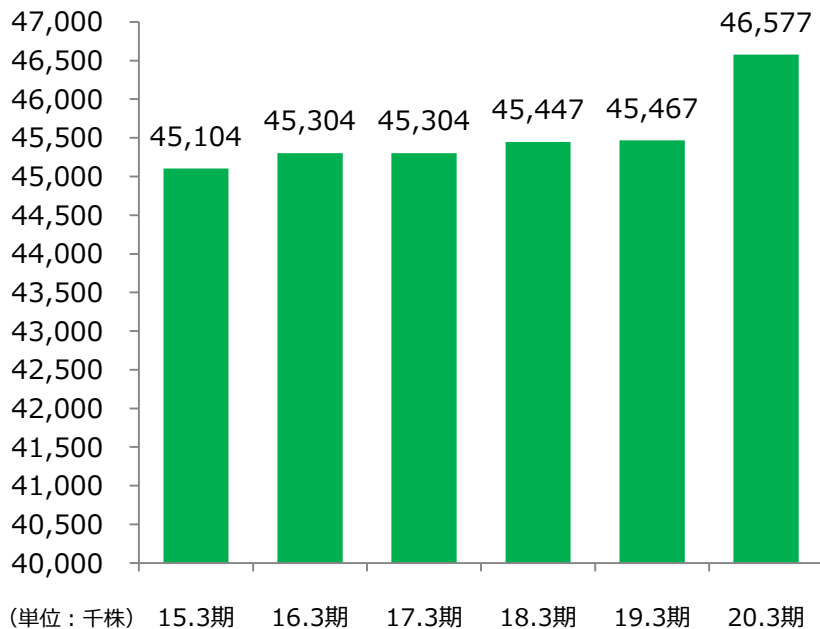
(単位：百万円) 15.3期 16.3期 17.3期 18.3期 19.3期 20.3期

15.3期 16.3期 17.3期 18.3期 19.3期 20.3期

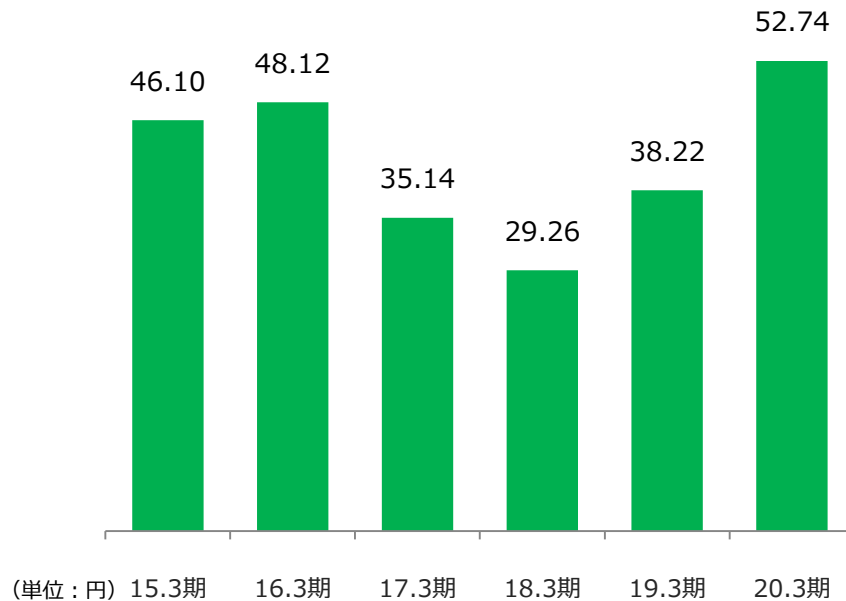


発行済み株式数・一株当たり利益（EPS）の推移

発行済み株式数の推移



一株当たり利益（EPS）の推移





連結業績の推移

	2010.3期	2011.3期	2012.3期	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期
売上高	14,530	17,490	23,201	28,113	32,443	34,261	34,350	36,763	36,114	42,182	46,055
売上高総利益	5,760	5,981	7,202	8,196	9,832	10,856	11,291	10,991	10,431	12,132	14,014
販管費	5,081	5,258	6,165	6,590	6,781	7,758	8,307	8,561	8,740	9,418	10,311
営業利益 ①	678	722	1,037	1,605	3,051	3,098	2,983	2,429	1,690	2,713	3,703
経常利益	607	621	1,080	1,553	3,006	3,325	2,731	2,337	1,610	2,662	3,541
親会社株主に帰属する 当期純利益	337	302	755	807	1,768	2,070	2,153	1,516	1,252	1,637	2,370
減価償却費(CF) ②	2,602	2,745	3,088	3,280	3,369	3,649	4,137	4,502	4,662	4,777	4,804
EBITDA (①+②)	3,280	3,468	4,126	4,886	6,421	6,747	7,120	6,932	6,353	7,491	8,508
	2010.3期	2011.3期	2012.3期	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期
ROE (株主資本利益率)	6.1%	5.4%	12.7%	12.2%	21.5%	19.8%	18.5%	12.6%	9.8%	12.0%	14.7
売上高純利益率	2.3%	1.7%	3.3%	2.9%	5.4%	6.0%	6.3%	4.1%	3.5%	3.9%	5.1%
総資産回転率	0.6	0.6	0.7	0.8	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8
ROA	2.4%	2.3%	3.5%	4.7%	8.4%	8.2%	5.8%	4.5%	3.1%	5.0%	6.2%

※ROE算出の際の株主資本は期初と期末の平均値を使用しています。



貸借対照表の推移

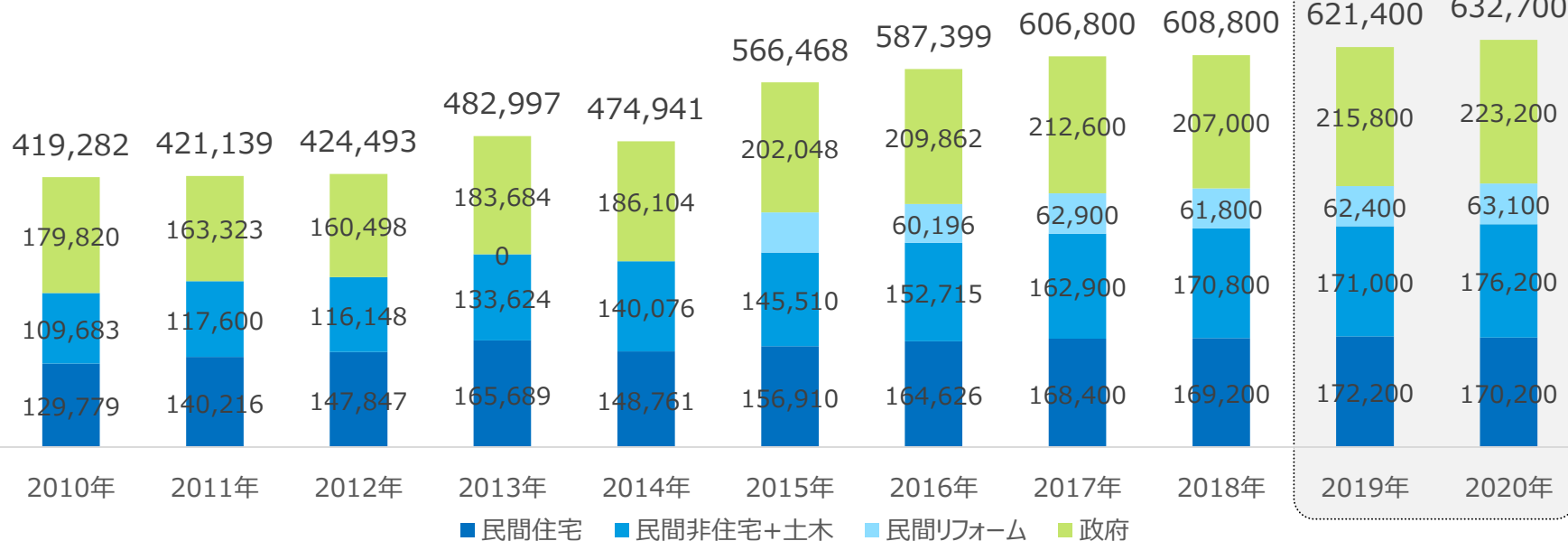
	2010.3期	2011.3期	2012.3期	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期
流動資産	6,638	10,396	12,202	13,725	15,892	18,213	19,769	20,557	20,136	22,781	26,408
固定資産	18,644	19,198	20,269	20,262	21,353	25,307	30,321	32,203	32,677	31,632	32,873
流動負債	9,209	10,745	12,351	14,117	15,356	18,070	21,365	20,606	20,991	20,302	21,730
短期借入金	800	971	417	416	1,200	3,168	4,958	5,163	6,645	4,621	5,400
固定負債	10,394	13,110	13,740	12,760	12,130	13,687	16,628	19,454	18,269	19,535	19,054
長期借入金	8,187	9,862	10,036	9,637	9,376	10,913	13,304	15,403	13,653	13,495	11,823
純資産	5,679	5,738	6,380	7,110	9,758	11,762	12,097	12,699	13,552	14,575	18,497
総資産	25,283	29,594	32,472	33,987	37,245	43,520	50,091	52,760	52,813	54,414	59,282
	2010.3期	2011.3期	2012.3期	2013.3期	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期	2019.3期	2020.3期
流動比率	72.1%	96.8%	98.8%	97.2%	103.5%	100.8%	92.5%	99.8%	95.1%	112.2%	121.5%
固定比率	333.7%	339.9%	323.2%	291.7%	224.4%	221.0%	257.7%	261.0%	249.0%	223.2%	182.1%
自己資本比率	22.1%	19.1%	19.3%	20.4%	25.5%	26.3%	23.5%	23.4%	25.0%	26.0%	30.5%
D/Eレシオ	273.0%	306.1%	311.5%	279.0%	196.5%	188.9%	226.4%	237.4%	223.6%	205.5%	164.1%



国内建設投資額推移

※国土交通省 2019年8月発表「建設投資の見通し」より作成

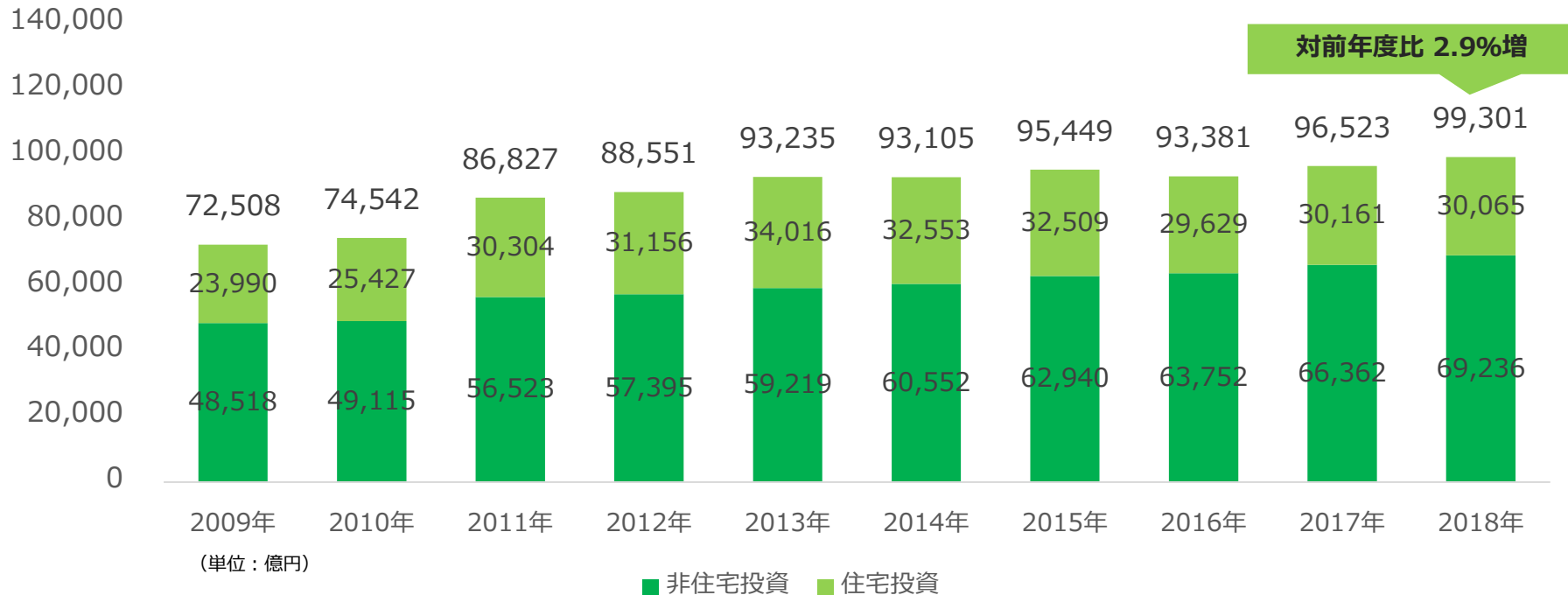
(単位：億円)





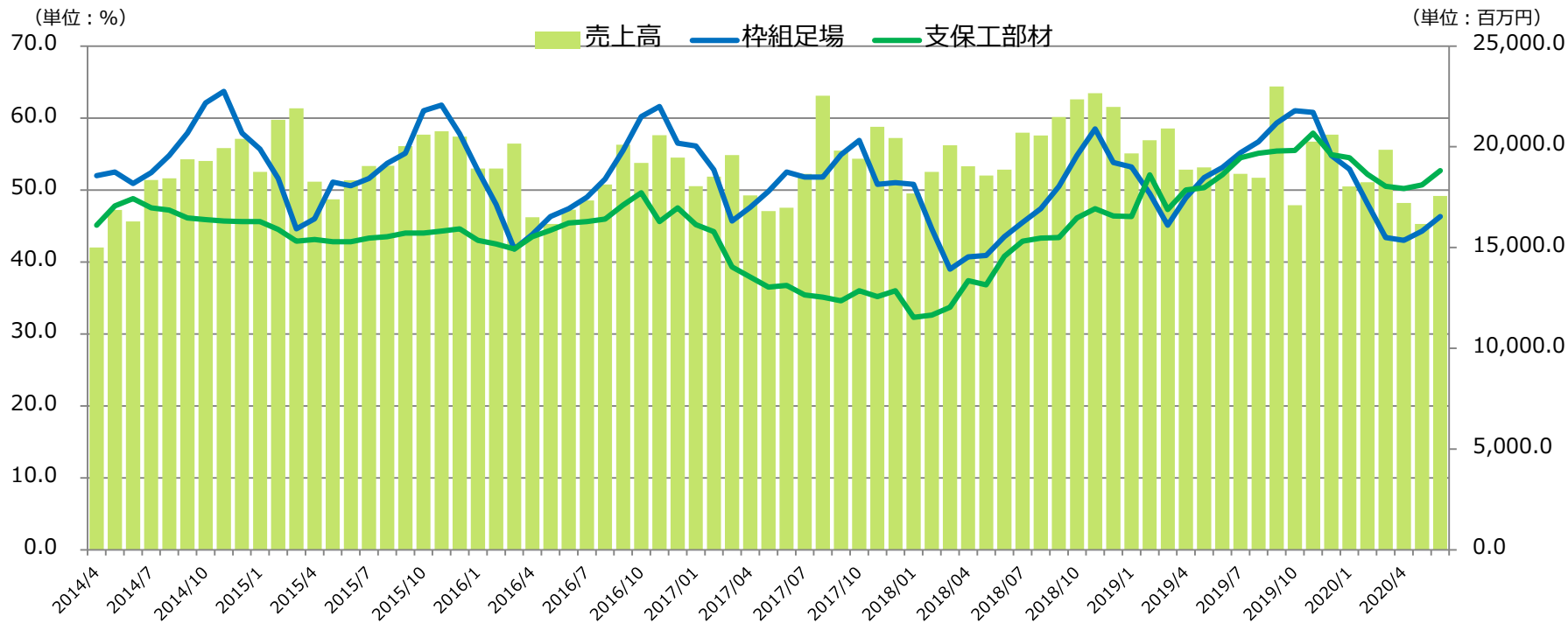
国内建設物リフォーム・リニューアル投資額推移

※建設経済研究所 2020年5月発表「建設経済モデルによる建設通しの見通し」より作成





軽仮設リース業50社の機材稼働率と売上高の推移



※国土交通省「建設機械器具リース業等の動態調査時系列」を加工



海外市場推移

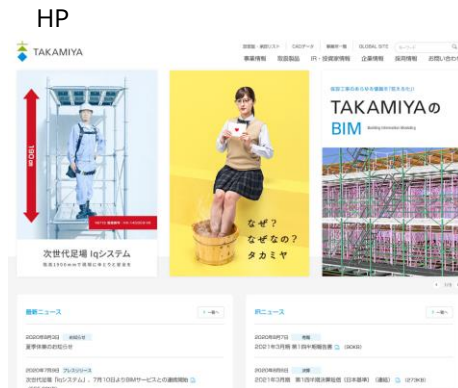
国名	(十億ドル) (百万人)	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
日本	名目GDP	6,203	5,155	4,850	4,394	4,949	4,872	5,167	5,362	5,498	5,641	5,796	5,962
	人口	127	127	127	126	126	126	126	126	125	125	124	124
韓国	名目GDP	1,222	1,305	1,411	1,382	1,411	1,498	1,693	1,777	1,863	1,957	2,055	2,154
	人口	50	50	50	51	51	51	51	51	52	52	52	52
タイ	名目GDP	397	420	407	401	411	455	483	520	550	581	614	649
	人口	67	68	68	68	68	69	69	69	69	69	69	69
ベトナム	名目GDP	155	170	185	191	201	220	240	264	290	316	344	373
	人口	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
フィリピン	名目GDP	250	271	284	292	304	313	332	355	392	430	474	523
	人口	96	98	99	101	103	105	107	109	111	113	116	118
シンガポール	名目GDP	290	304	311	304	309	323	349	367	385	401	419	437
	人口	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
マレーシア	名目GDP	314	323	338	296	296	314	364	402	439	478	521	568
	人口	29	30	30	31	31	32	32	32	33	33	34	34
ミャンマー	名目GDP	59	60	65	59	63	66	70	74	83	91	101	112
	人口	50	50	51	51	52	52	52	53	53	53	54	54
インドネシア	名目GDP	919	916	891	860	932	1,015	1,074	1,152	1,247	1,340	1,440	1,548
	人口	245	248	252	255	258	261	265	268	272	275	279	282

※出所：IMF “World Economic Outlook Database” より作成 / 着色セルは予測値



IRコンタクト

- 社名 : 株式会社タカミヤ
住所 : 〒530-0011
大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪 タワーB 27階
HP : <https://www.takamiya.co/>
IRサイト : <https://www.takamiya.co/ir/>
TEL : 06-6375-3918
FAX : 06-6375-8827
担当者 : 経営管理本部 広報IR室 川畑



IRサイト



本資料は、当社グループに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。